



第2号

北 港 立 川 奈 高 等 学 校 報
同 窓 会 会 報
平 成 20 年 1 月 1 日 行 発

平成十九年度総会結果報告

平成十九年度総会が港北高校会議室をお借りして、会則第十三条に則り九月の第一土曜日（三日）午後三時から行われました。

議案は、新役員を選出など事務局から提示され、左記の通り決定しました。

平成十九年度予算の特色は、港北高校創立四十周年事業への寄付金が上がられます。次年度以降も

母校の週年事業への寄付のため、特別予算として、積み立てていく計画です。

今回の総会には、昨年のように新会員の出席はありませんでしたが、昨年に続いて出席いただいた方や、総会をきっかけに久しぶりの母校見学を兼ねていらした方など多彩な出席状況で、これから同窓会を盛り上げるための具体的な意見も多くあり、それぞれのクラス会の活動状況を集め、そこを起点として同期生の連絡・連携を作

り、各期に伝播させてはどうかなど、活発な意見交換が行われました。また、総会終了後には、大倉山駅近くの店で、アフタータイムを楽しむなど、港北高校生時代の話や、同窓会の将来について話が弾み、充実した時間を過ごすことができました。



総会終了後の記念写真

新役員紹介 副会長 11期 松本 剛

同期の若菜先生から副会長を引き継ぐ事となりました。宜しくお願ひ致します。

港北高校へは、卒業以後、若菜先生が大学の教育実習生で母校に教えに来ていた時の思港祭に『富田靖子に会えるかも知れない!!』と不純な動機で学校に来たとき、以来、十二年振りだったので、新横浜から学校へは、カーナビ無しでは辿り着けず、歩いての登校では、大倉山駅前通りの変わり様に、目を白黒してしまっ次第でした。

2期生はクラス会チーム？

一期生（四学級一九二名）は始めの一年を県立鶴見高校（通称県のクラス）の幹事もやっているのです。最近ではクラス会をやらなくなつたため、クラスの皆の連絡先も分からなくなつて来ました。そんな話を久し振りに会った若菜さんに話をしたところ、幹事好きなら、ちょっとも県鶴でしたか。港北高校同窓会の総会に来て見ないと話をされて、見学に来た勢いで若菜さんと交代となりました。

クラスに限らず、学年、部活動などに広がれば、巡り巡って、自分達が会いたい人にも会うことが出来ると思います。また、新しい出会いも。そんなワクワクする様な会になっていきたいと思ひます。

クラス会情報

今回の総会では、会報を通じてクラス会や同期会などを紹介することで、徐々にでも同窓の輪を広げていってはその意見がありません。そこで、二期生がかなり盛り上がっているとの情報をいただきましたので、紹介します。



もともと、まだ体育館がなくて入学式は何と屋上でやりました。雨が降っていたら私たちはどうなっていたのでしょうか。

翌年三月に体育館が格技場や特

平成19・20(07・08)年度役員

役職	氏名	卒業期
会長	加藤 務	第4期生
副会長	葛岡 美佐男	第4期生
副会長	松本 剛	第11期生
会計監査	植田 治	第6期生
会計監査	岡野 政史	第22期生
事務局長	齋村 一郎	第4期生
書記	齋藤 雅明	第15期生
書記	黒木 剛	第32期生
会計	大橋 恵美子	第22期生
会計	福沢 次郎	第33期生

2006年度港北高校同窓会会計報告

(収入の部)		
繰越金	2005年度より	1,273,958 円
会費	35期生(236名)	236,000 円
雑収入	利子	681 円
合計		1,510,639 円
(支出の部)		
封筒代		3,243 円
文房具		622 円
通信費		82,010 円
会報印刷代		30,030 円
卒業式祝電代		2,688 円
合計		118,593 円
収入総額		1,510,639 円
支出総額		118,593 円
残額		1,392,046 円
以上の通り、報告いたします。 2007年8月26日		

平成19(2007)年度県立港北高等学校同窓会予算

(収入の部)		
繰越金	平成18(2006)年度より	1,392,046 円
会費	36期生(236名)	236,000 円
合計		1,628,046 円
(支出の部)		
消耗品費(文房具等)		3,500 円
通信費(総会案内や、会報配布等)		70,000 円
会報印刷代		35,000 円
ホームページ開設に伴う費用		84,000 円
港北高校創立40周年記念事業寄付		500,000 円
港北高校周年事業寄付積立		50,000 円
予備費		885,546 円
合計		1,628,046 円

別教室と共に完成したものの、庭も整備されておらず、体育の授業は、ころころ転がっている石拾いでしたし、放課後の教室掃除は、床を水浸しにして、生徒がポリッシャーをブンブン振り回し、その後雑巾で拭き取るというものでした。そういえば、大雨が降ると鶴見川がすぐに溢れて、生徒は早退しましたっけ。

新設校で伝統なんかなくて、うるさい先輩もいない方が、楽ちんと取って選んで入学するような生徒達ですから、皆相当個性的でした。また若い先生方も多く、良く言えば自由な校風、一つ間違えば…？何かもが初めてだらけで戸惑うことも多く大変でした。

男子の制服は、当時かなり斬新なブレザーにネクタイ姿で、学生らしくないのを良いことに、そのままパチンコ屋さんに入る輩がいる一方、やわなイメージ故か、大綱中学の生徒に「かつあげ」される始末でした…トホホ。

修学旅行は新設校のイメージアップを図ってか、一年生で三泊四日の東北旅行、二年生で六泊七日の九州旅行とゴージャスなこと！その他、青年の家クラス研修会や夏のキャンプ、冬のスキー講習会

などなど、思い出に事欠かない高校生活でした。そんな私たちが卒業して三十四年。それぞれの人生を、ふと立ち止まってみる余裕が生まれたのか、はたまた偶然のできごとでしょうか、今年になってクラス会が三つ、旧二組、四組、五組と、それぞれ三十数年ぶりに行われました。一組は二年前に再会を果たしたそうだし、三組、八組は以前から定期的にクラス会を開いていたとか。この定期開催は、いずれ全てのクラスに伝播することでしょう。

この感動がクラスを超えて、学年同窓会へと発展してゆけば、部活動の仲間や



中学校からの旧友の輪が広がって、益々楽しい集まりが生まれるでしょう。

同窓会総会で、会長始め役員の皆様が、会を盛り立てようと尽力して下さっている様子を拝見し、私も何とかお力になりたいと思いました。まずは二期生の消息を一人でも多く得て、同窓会会報「思港」を届けたいと思います。

なぜなら「思港祭」の命名をしたのは、他ならぬ私たちなのだから。

「二期生、本郷級のクラス会」を終えて

2期 清川(松山)としみ

実に三十四年ぶりの再会でした。港北高校二期生として卒業以来、四組(本郷級)としてのクラス会が、二〇〇七年

二月に、桜木町の居酒屋で行われました。参加者は他のクラスからの三名を含め二十五人。



顔と名前が一致しないと困るので、高校生の頃、毎日胸を飾っていた同じ丸形の名札に各自で名前を書いてもらい(姓の変わった人

は旧姓で)、それがクラス会を始める合図のようなものでした。

社会ではそれぞれ、責任のある仕事をしたり、父親であったり、母親をしたりしている元クラスメイト達が、一様に時間を戻し、草創期の港北高校の思い出話に包まれ、宴は尽きることがありませんでした。

私たちの担任であった本郷先生は、当時、男子の体育と保健を教えておられ、部活はバスケットの顧問、担任としては大変なきれいな好きで、我クラスは月一回の床のポリッシャー掃除を遂行、後に床材が剥がれ、後輩達に迷惑をかけたしまったらしい。

第一回思港祭ではへお化け屋敷で参加。東横線・多摩川園駅前にあった遊園地に交渉し、本物を借り受け、校舎の横を流れる鶴見川で男子達が葦やススキを刈り、使っていない半地下の部屋に保存リアルなお化け屋敷を再現し、本郷級一丸となって思港祭を盛り上げました。

そして月日は何十年も流れ、昨年クラス会の話が突然持ち上がり、私が発起人をする事になりました。だが、その最初の仕事は名簿づくりでした。今は個人情報保護で、港北高校も卒業生名簿を発行しておらず十八年前作成された名簿と(その頃転勤族だった私自身、行方不明でした)、インターネットのへびとまぐサイト、友人達の手を頼りに遅々として進まない作業を行っていました。そんな時同じクラスだった友人が病気で突然亡くなり、ショックでその作業も中断していたら、別の友人が、猛烈に頑張って手伝ってくれました。何しろ最後の名簿から十八年も経過しているので、住所表記や電話番号表記の違いは、管轄の所に電話をかけて聞き、ネットのグーグルの地図で調べたりと、すばらしい集中力を発揮してくれました。

電話での怪しい勧誘や振り込め詐欺が横行する昨今、実家や家族の人には怪しまれたりもしました。が、本人と話ができれば、声や話方は変わらないらしく、すぐ理解してもらえ、長電話になってしまいうことも多く、嬉しかったです。挫折しかける心に『クラス会、私も出席したかったなあ』と云う人がいないように「を合言葉に、二人で地味な作業を続け、四十六名中約2/3の三十一名の連絡先が判明しました。

具体的に話が進むと、手伝いを申し出てくれる人も出て、スムーズに進行していきます。昔一緒に各行事に参加した仲間達の何と頼もしかったことが。

「探し出してくれてありがとう」や返信用のハガキに「もちろん」を付け加えて出席に○印を書いていたたり、発起人の役得もいっぱいありました。

私たちの年齢になると、すでに鬼籍に入ってしまったひと、育児は一段落したが親の介護を支える人、もちろん受験生をかかえる人、自分自身の健康不安と、環境は様々です。若かった頃は考えなかった後ろを振り返ることが、妙に懐かしく思えるのかもしれない。

本郷級のおとこ、三原級、内藤級、藤田級、高橋級（こちらは年に一度は集まっているようです）、二期生クラスチームが、二〇〇七年に巻き起りました。

今、若い後輩たちもいすれ年月が経ったときに、懐かしい場を設けたくなると思います。そんなときに港北高校が力を貸して下さい。いいなと、切に願っております。



同窓会員の近況

「きんぱすらいふ」

専修大学 学生生活課

2期 宇野 武

皆さんこんにちは、私の家は港北高と近かったので合格後現校舎竣工まで土手の上から建築現場を見ていました。当時は自宅新羽町から新横浜駅駅舎の照明が良く見えるほど、鶴見川の向こう側は田んぼだけでした。校庭は石がごろごろ、片付けると今度は突風が土（砂）を巻き上げ、元通りに。生徒会副会長として新設校の諸問題解決に苦労した覚えがあります。

卒業後は、専修大学経営学部情報管理学科（今はネットワーク情報学部）に改組転換し、今この学科はない（？）に入学し、コンピュータの文系的使い方や学びました。そのまま、手作業で行っていた大学事務を「合理化、機械化」すべく大学職員として残りました。

いろいろなセクション（大学も学生と接する部門だけでなく、裏方もあります。）を経験して現在は、神田キャンパス（川崎市多摩区）に生田キャンパスがあり二十八年間勤務していました。（の学生

生活課にいます。

学生生活課は、学生生活の支援サービスを行うところです。範囲は幅広く、大学の授業 研究を支援する学習支援サービス以外のことすべてといってもいいでしょう。サークル管理、健康管理・健康診断、生活相談・指導、遺失物管理、学生主催の催し物、奨学金、研修・保養施設（セミナーハウス等）、学生食堂・売店、駐輪・駐車揭示許可、学割・通学証明書、下宿・アパートの紹介・斡旋、スクールパス、アルバイト紹介、傷害保険などが担当範囲です。

相談 事件・事故には、教職員、父母のみならず医師、看護師、カウンセラーから警察、弁護士と連携をとって対応し問題解決に当たり、楽しく充実した学生生活を過ごせるよう指導・助言をしています。また、キャリア教育（資格取得・スキル学習支援）・留学・就職・インターンシップ・スポーツ・図書館などの他部署の専門スタッフとも協力、連携しています。

もちろん、大学では専攻している学問を中心に学習・研究をします。一生涯の友（先輩、後輩も含めて）を作ること、進路を決めることも非常に重要です。大学では

授業や研究・クラブ活動で、また、ふとしたきっかけで日本各地あるいは海外からの学生とも知り合う機会が多くあります。

理系では研究室や実習、文系ではゼミナールや演習を通じて、恩師との結びつきも深くなります。本年二月、恩校の伊藤清春校長が専修大学に来校され高大連携協定の締結式が執り行われました。

この協定により本年度前期は大学から教員を高校に派遣して「出前講義」を行い、後期からは教職関係の研修で本学卒業生がお邪魔しています。また、時間と条件が許せば港北高の生徒が大学の講義を受講することもできます。キャンパスライフの疑似体験もできます。宣伝になりそうなのでこのくらいで。

本年七月七日に高校卒業後三十四年目にして初めてのクラス三原級会が、横浜ロイヤルパークホテルで恩師を招いて開催されました。二十名弱の顔を思い出しましたが、ちょっと時間がかかりましたが、皆それぞれの人生をしっかりと歩んできたのだと確認しあい、充実した時間を過ごすことができました（プラス四十kgに変身してこめんなさい）。

港北高校の『多様性』と『絆』

みずほ総合研究所編

12期 平田賢典

私は、港北高校を卒業して今年で二十五年になります。大学は理工学部化学科に進学、卒業後は都市銀行に就職、現在は銀行系のシンクタンクに出向しユニバーサルデザイン等の調査研究に携わりつつ、大学院の博士課程で比較組織ネットワーク学を研究しております。いま、自身の高校生活を振り返りますと、現在のユニバーサルデザインと比較組織ネットワーク学という二つの研究テーマの原点が港北高校での三年間にあったように思います。

私は、生徒の多様な個性を尊重し伸ばす港北高校の教育方針の中で、社会の『多様性』を学び、こうした多様な人たちの『絆』（ネットワーク）の大切さを学ぶことができました。

ここで、ユニバーサルデザインという言葉について若干の補足をいたしますと、「年齢、性別、障害の有無に関わらず誰にでも利用しやすいデザイン」という考え方を、簡単に申せば、世の中多様な個性を持った人が集まって社会を形成しているのであるから、で

まらだけ多くの人にとって暮らしやすい社会のしくみや施設をデザインしていくことが必要であることですね。

これは私が大学に入って感じたことですが、決して進学校ではない港北高校から進学した私にとって、特定の大学進学を目標として教育されてきた中高一貫の進学校から来た周りの友人たちのことが

何か違和感をもって感じられました。港北高校では、卒業時のクラスメイトも進学した方だけではなく様々な職業に就職した方など多種多様であり、こうした様々な

「未来図」を描いている仲間と共に学ぶことが自分自身にとってもいへんよう勉強になったといまでも感謝しております。

つぎに、比較組織ネットワーク学についてです。私が現在立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科で研究をしている比較組織ネットワーク学という研究テーマは、行政、企業、NPO等の市民活動といった三つの異なる価値観をもった社会組織をいかに協働させて新しい社会をデザインしていくか

ついでに、昨年年度までは同大学院の修士課程に在籍していましたが、

そこでまた港北高校の卒業生の方が隣接する研究科におり共に学ぶ機会を得ることができました。

彼は、私より若い方でしたが、社会に出てから疎遠になっていた高校同窓会ネットワークの大切さを改めて感じさせられることとなりました。本稿を書かせていただく機会を得たのも彼のおかげです。

高校を卒業するとそれぞれ別な道を歩むこととなり学校時代のネットワークは途切れがちになります。しかしながらありがたいことに平成20年度に創立40周年を迎える港北高校という一つの

『絆』に結ばれたネットワークは一人万人を超える規模に成長しているというのを私たち卒業生一人一人が見直し、大切にしていくなさだと思えます。

社会の方向性が見えにくくなっていく21世紀初頭のいまの時代に改めて生徒の多様性や多文化共生を重んじ、自ら学び、考える力を養っていただいた港北高校の教育に感謝するところ、『多様性』のある港北高校同窓会の『絆』をこれからも大切にしていきたいと思つとも、同窓会会

員の皆様のお祈り申し上げます。

支えられて

35期 増田絵里

今回港北高校で過ごしてきた3年間についての原稿を依頼されて、なぜ私が選ばれたのだろうか？と考えました。

私は多くの友達が熱を注いでいた体育祭の応援団にも参加していません。文化祭で全校生徒を盛り上げていく事などもしていませんでした。もしかしたら、増田だったら断らないだろうと思われたのかな？と不安にもなっていました。(笑)

でも、私は3年間港北高校で出会った先生方や先輩方、友達が教えてくれたもの、大学生になって初めて気がついたものなどを書かなければいけない。とそう感じました。

港北高校に入学し、クラブに迷っていた私は、綺麗な芝のグラウンドと顧問の先生の笑顔に惹かれ、すぐに陸上部に入部することに決めました。その時部員は最後の大会を控えた三年生が七名と同じ学年の男の子が一名でした。

最初は、ただ部員や先生と楽しく練習することが新鮮で、陸上初心者の私でも暖かく迎えてくれた場所です。居心地のよさを感じ

ていました。しかし、三年生が引退して二人となり、意見の食い違いから活動中も話す機会が減り、仲は悪くなっていく一方で、楽しみながら上の大会を目指していくというより、ただとにかく一人で練習という、本当に辛い場所となってしまいました。

けれど、そんな私達を見て、顧問の先生、OBを含めた先輩方はその状態を叱るわけでもなく、練習を見にきてはアドバイスを下さったり、私達が自ら二人で解決するまで見守っていてくれました。

だから私は部員が一人のような状態でも、先生や先輩がいれば孤独ではなかったし、逆に支えられているこのお返しは、私達が仲良くして部の雰囲気良くし、陸上競技には集中をする。そして結果で返すしかないのだと思わせてくれました。今にしてみれば、私たちが最初から自主的に二人で話し合えば、先生や先輩にも迷惑をかけることがなかったのに、なぜ迷惑をかけてまでお互い頑固になってしまったのだろうと思います。でもその時

そうやって迷惑をかけることがなかったら、今私はこう思えていないし、このことを寄稿することもなかったと思います。

先生や友達は、私の事をへす

いぐだとかへい子ぐだと言います。でもそれは違うと思う。本当は勉強も出来ないし、しっかりとしない。だから失敗もよくするし、諦めたりもする事だっ

て、その事に気付いている自分だと思えます。

高校生活で、大切な家族、先輩、後輩・・・改めて大切なものに気付く時期だと思います。例えば自分が今いる場所が辛くて、真っ暗で、出口が見えないと思っても、必ず支えてくれる人がいます。私はその事を三年間の高校生活で学んだし、大学生になり、さらにその事を感じます。

同窓会ホームページ運営スタッフ募集

現在、港北高校同窓会では、ホームページ開設を計画しています。ホームページ作成・運営に無償でご協力いただける方をご連絡ください。

同窓会事務局 三村 一郎
電話 090-3964-9041